

# 2024年5月31日(金) 日刊工業新聞掲載

## 第43回 西海記念賞

埼玉産業人クラブ（増田文治会長）が、研究開発や創意工夫で優れた成果を出した会員企業の技術者をたたえる「第43回西海記念賞」を決めた。受賞したのは渦巻き水流型アルカリ洗浄・選別装置「トルネードNTA-500」を開発した日本シーム（川口市）営業本部営業グループの鈴木大輔サブマネージャー。「多量化光中継機」を開発した七星科学研究所（埼玉眞所沢市）情報通信事業部。同賞は埼玉産業人クラブで2代目会長を務めた三輪精機の西海園主夫氏による寄付金で創設。2023年度に日刊工業新聞に掲載された記事から候補を選び、技術士ら専門家による協力を仰いで決めた。

### 日本シーム（川口市）

#### 渦巻き水流型アルカリ洗浄・選別装置「トルネードNTA-500」

営業本部営業グループ 鈴木大輔さん  
サブマネージャー

「当社が環境機械の製造販売をする中で、今回の技術を認めていただいた。大変光栄な賞をいただき、非常にありがたく思っています」と鈴木さんは受賞を喜んだ。

開発した「トルネードNTA-500」は、プラスチックなどを落とす渦巻き水流型アルカリ洗浄・選別装置。使用済みプラスチック資源にして再び同じ製品にする「水平リサイクル」に不可欠な「脱墨」という工程に初めて対応した。従来はインクを落とさず再生していたため、色が混ざった雑色の再生樹脂になるなど、「カスケードリサイクル」が一般的だった。開発した製品により高い品質の「水平リサイクル」への移行が広がるのが期待され、国連の持続可能な開発目標



トルネードNTA-500

受賞した鈴木さん



「環境機械メーカーとして、微力ながら世界の環境問題の解決に向けて、常にできることを考えて行動してきた。これからも世界に向けてどんどん技術をアピールしていく」と今後の抱負を語る。

日本シーム（川口市）の鈴木大輔さん（写真左）は、営業本部のサブマネージャー。構成から撮影、編集まですべて社員で内製している「ユーチューブ」の動画に自ら出演し、製品説明やリサイクルについての啓蒙活動を積極的に発信している（ともに働く鈴木健太さん（右）と七野丈一さん（中央））



日本シーム